

## 研究課題名「小児期発症てんかんの脳波のAI (Artificial intelligence)解析」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2006年以降に名古屋大学医学部附属病院で脳波検査を受け、てんかんと診断された、診断時に16歳未満の小児を対象とします。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

てんかんは人口100から200人に1人みられる病気ですが、その症状の重さや薬の効き具合はさまざまです。脳波検査はてんかん患者さんが受ける検査として重要です。脳波検査の結果は通常は医師が目で見えて判定しますが、脳波検査の結果は複雑で、人の目でのみだけではわからない情報が多く含まれている可能性があります。我々は人工知能(AI: Artificial Intelligence)の技術を使っててんかん発作が始まったときの脳波を調べて、てんかん発作が薬でおさまるのか、運動や知能の発達の遅れが見られるようになるのかを予測できるかを調べています。

研究期間は本研究の実施が名古屋大学で承認されてから2030年3月31日までの見込みですが、研究期間は延長される可能性があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究には、てんかんの患者さんの脳波記録の一部と、病院の診療記録で確認された診断名、薬の効果、治療後のてんかん発作の調子、知能や運動の発達の経過を情報として用います。患者さんの住所や氏名などは削られ、代わりに新しく符号がつけることで(匿名化)、患者さん個人が特定できないようにします。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 障害児(者)医療学寄附講座 夏目淳

(電話 052-744-2294、ファックス 052-744-2974)